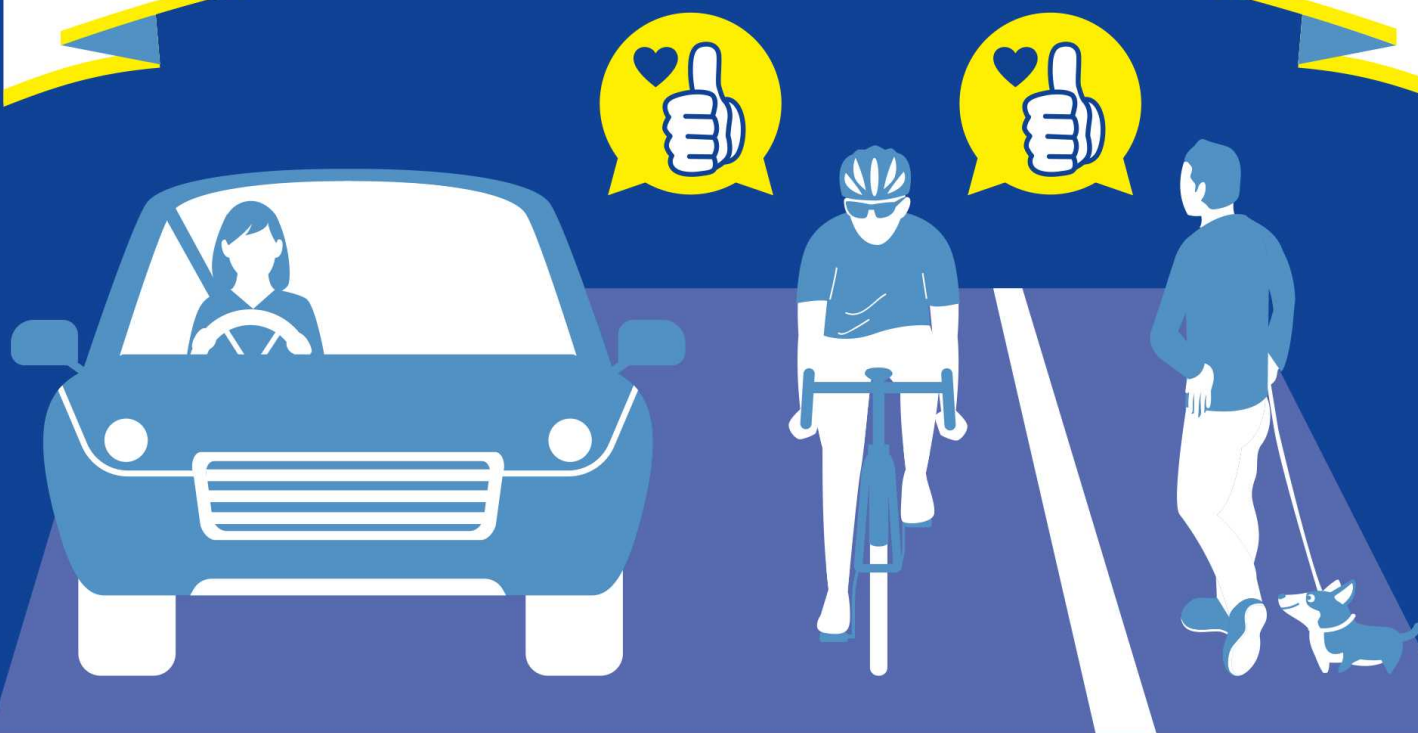


みんなで作る「思いやりロード」 SHARE THE ROAD

道路はゆずりあって使おう！



SHARE THE ROAD (シェア・ザ・ロード)とは？

サイクリスト等 ドライバー

歩行者、自転車、自動車がお互いの立場を思いやる気持ちを基本として道路を安全・快適に共有することを言います。

自転車を利用する
皆さんへ

① ヘルメットを 着用しましょう

事故による被害を軽減させるため
ヘルメットを正しく着用しましょう。



② 自転車保険に 加入しましょう

自転車運転中のケガや相手への
損害補償に備えて保険に入りましょう。



Setouchi Vélo協議会



Setouchi Vélo協議会
ホームページ



《構成団体》

兵庫県、岡山県、広島県、山口県、鳥取県、島根県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、近畿地方整備局、中国地方整備局、四国地方整備局、近畿運輸局、神戸運輸監理部、中国運輸局、四国運輸局、中国経済産業局、四国経済産業局、(一社)中国経済連合会、四国経済連合会、(一社)せとうち観光推進機構、(一社)四国ツーリズム創造機構、本州四国連絡高速道路(株)

自転車に乗るときはヘルメットを着用しましょう！

全ての自転車利用者のヘルメット着用が努力義務になっています。

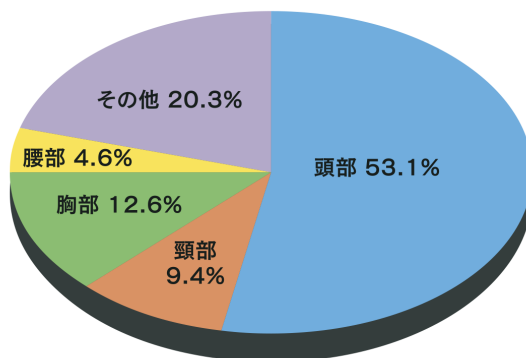
なぜヘルメットをかぶらないといけないの？

転倒時の損傷箇所の割合

転倒時の損傷部位を見ると、頭部が圧倒的多数を占めています。転倒の際に路面や縁石で強打する、あるいは自動車等との衝突で車輪に巻き込まれたり、車体や外板で強打するケースが多いことが原因といわれています。

これらによって頭蓋骨骨折や脳挫傷、脳しんとうを起こすケースが多く、死亡に至っています。当然ながら、頭部に損傷を受けると、他の部位に比べ死亡割合が著しく高くなり、死亡に至る事故につながります。

まずは頭部を守る、つまりヘルメットの着用が何よりも大切であると言えます。



自転車乗用中死者の人身損傷主部位（令和2年～令和6年合計）

※令和2年～令和6年合計

※出典：「頭部の保護が重要です～自転車用ヘルメットと頭部保護帽～」

※（警察庁：https://www.npa.go.jp/bureau/traffic/anzen/toubuhogo.html）を加工して作成

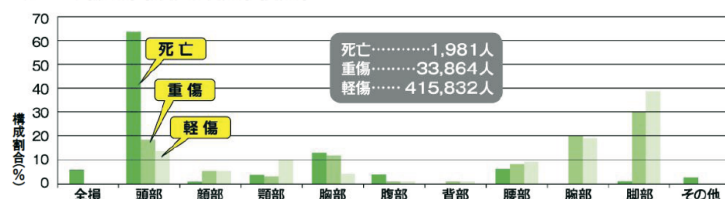
装着時と非装着時の比較など

停車中の自転車の転倒時に頭蓋骨にかかる力（骨折の危険性）や脳にかかる力（脳しんとうの危険性）はどの程度かを検証するため、「ヘルメット装着の場合」と「ヘルメット未装着の場合」の人体モデルを使った「転倒実験」をもとにシミュレーションした結果、ヘルメットの重要性が浮き彫りとなりました。

※引用「ヘルメットをかぶろう！」株式会社オージーケーカブト
https://www.ogkkabuto.co.jp/hg/ind.html 2025年1月13日参照

◆頭部に損傷を負うと、60%超が死亡に至る重大事故に！

■自転車事故の損傷部位別／損傷程度による損傷部位
（平成21～23年【構成割合】＝【各損傷主部位損傷者数】／【損傷者数】×100）



※出典「交通事故分析レポートVol.97」/（公財）交通事故分析センター（平成24年11月）

青切符（自転車の交通反則通告制度）導入について

※自転車対象とされている反則行為（下記は一例です）

令和8年4月1日～
自転車の交通違反※
が青切符の
対象に
!!



ながらスマホ
（携帯電話使用等（保持））
反則金 12,000円



遮断踏切立入り
反則金 7,000円



ブレーキなし自転車
（自転車制動装置不良）
反則金 5,000円

交通ルールを守って
安全運転を!!



二人乗り
（軽車両乗車積載制限違反）
反則金 3,000円



傘さし運転
（公安委員会遵守事項違反）
反則金 5,000円



並進禁止違反
反則金 3,000円

※引用元 岡山県警察「交通安全ニュース（自転車の交通違反が青切符の対象に!!）」
https://www.pref.okayama.jp/uploaded/attachment/397504.pdf
※詳細 警視庁「自転車の交通反則通告制度（青切符）の導入」
https://www.keishicho.metro.tokyo.lg.jp/kotsu/jikoboshi/bicycle/cycle_kaisei.html